

宣 言

21 宣 言

1 墨田区平和福祉都市づくり宣言

平成元年1月11日
告示第3号

わたくしたちは、平和のうちに幸福な生活を営めるよう、これまで、たゆみない努力を積み重ねてきました。

平和を守り、より良い生活と文化を築いていくことは、わたくしたち共通の願いです。

「平成元年」という新しい時代の始まりにあたって、わたくしたち墨田区民は、心新たに、世界の平和とひとびとの福祉向上の実現に、一層努力することを誓い、ここに平和福祉都市づくりを宣言します。

— 行政経営担当 —

2 墨田区緑化宣言

昭和47年3月28日
告示第23号

墨田区に緑を

わたくしたち墨田区民は、明るく住みよい町づくりを心がけています。しかし、わたくしたちのまわりからは、しだいに大切な緑が失われ、うるおいのない毎日になりつつあります。わたくしたちは、いまこそ一致協力して、墨田区に失われた緑をとりもどし、ふやしていかななくてはなりません。そして、ゆたかな生活環境をつくりだすこと—これがわたくしたち墨田区民の願いです。

このために、わたくしたちは、次のことを誓います。

- 1 緑を愛し、だれもが緑化につとめます。
- 2 樹木や草花を大切に、できるかぎりふやすようつとめます。
- 3 公共の場所は、特に緑化するようつとめます。
- 4 緑のある空地を多くし、不時の災害に備えるようつとめます。

— 環境保全課 —

3 すみだ健康区宣言

昭和59年10月7日
告示第183号

わたくしたちは、だれもが、生涯にわたって心身の健康を保ち、いきいきと働き、学び、楽しく集い、憩える、明るい家庭と活気のあるまちの実現を願っています。

健康こそは、個人や家族にとっての幸せの源であり、社会を発展させる原動力です。

いま、21世紀に向けて、わたくしたちは、区民すべての健康づくりを推し進め、「人と緑と産業の調和した安全、快適、豊かな

まち墨田区」をめざし、次のことを誓います。

- 1 わたくしたちは、健康な生活習慣を身につけ、自分の健康は自分で守り、自分でつくります。
- 2 わたくしたちは、病気の子防や早期発見、早期回復に努め、健やかな生涯を築きます。
- 3 わたくしたちは、体力づくりに励み、レクリエーション、文化活動に親しみ、豊かな活力を養います。
- 4 わたくしたちは、ふるさと墨田の自然と風土を守り育て、まちを美しく清潔にし、住みよい環境をつくります。
- 5 わたくしたちは、家庭の団らんや近隣との交流を大切にし、思いやりと心のふれ合いのあるまちを、未来に引き継ぎます。

— 保健計画課 —

4 すみだ やさしいまち宣言

平成12年7月11日

議 決

すみだ やさしいまち宣言 —— 人と地域と環境のために ——

わたくしたち墨田区民は、21世紀という新しい時代を迎えるにあたり、「やさしさ」や「おもいやり」の心を大切にして、人と地域と環境に対してやさしいまちをつくり、未来の世代に引き継いでいくために、次のとおり行動します。

- 1 人と人とのふれあいを大切にして、お互いに支え合う「人にやさしいまち」の実現に努めます。
- 2 まちをきれいにし、他人への迷惑行為や犯罪をなくし、すべての人が安心して暮らせる「地域にやさしいまち」の実現に努めます。
- 3 環境に配慮し、限りある資源を大切にする「環境にやさしいまち」の実現に努めます。

— 地域活動推進課 —

私たちの行動指針

(平成21年10月1日改定)

「人」にやさしいまち

- 1 大人も子どもも進んで「あいさつ」し、人と人とのふれあいを大切にしよう。
- 2 家庭、地域社会、学校の連携で、健全で心豊かな青少年を育てよう。
- 3 地域の行事に参加しよう。
- 4 おとしりや体の不自由な方などを思いやり、お手伝いしよう。
- 5 誰にでも、おもてなしの心で接しよう。

「地域」にやさしいまち

- 1 地域の安全と安心のため、防犯・防火につとめよう。
- 2 たばこの吸い殻やごみのポイ捨てはやめよう。
- 3 ペットを飼うときは、マナーを守ろう。
- 4 自転車を放置しない、させない。
- 5 家族や地域の人達と一緒に、清掃活動や美化活動に参加しよう。

「環境」にやさしいまち

- 1 環境について学習し、生活に活かそう。
- 2 電気・ガス・水を大切に使用して、地球温暖化を防ごう。
- 3 地域の緑を守り育てよう。
- 4 雨水をたくわえ、活用しよう。
- 5 「もったいない」の気持ちを心がけよう。

5 すみだ環境区宣言

平成21年10月1日

告示第292号

— かけがえのない地球を未来の子どもたちへ —

私たちの住む地球は、多様な生命の営みにより育まれ、多くの人々の英知と努力により守られてきました。

この地球を、美しいままに未来の子どもたちへ引き継ぐことは、今を生きる私たちの責務です。

私たちの暮らす墨田区は、悠久の流れをたたえた隅田川と先人の力によって生まれた荒川の二つの河川に抱かれた豊かな水辺の地にあります。

この地の自然をはじめとして、江戸下町文化を育んできた環境を守り、より豊かにして引き継ぐことは、墨田区に住み、働き、学び、集う私たちの願いです。

私たちは、自然の恵みに感謝するとともに、国内外の人々との交流を深め、共に手を携えて、この愛する墨田区を「環境にやさしいまち すみだ」として未来の子どもたちへ引き継ぐため、次のとおり行動することを宣言します。

- 1 地球温暖化を防ぐクリーンなエネルギーを導入し、低炭素型のまちをつくります。
- 2 水辺と緑を守り増やし、自然と共生するまちをつくります。
- 3 ごみを減らし、資源を大切にすまちをつくります。
- 4 雨をたくわえ、水の恵みを活かしたまちをつくります。
- 5 生活環境を守り、安全で安らぎのあるまちをつくります。
- 6 環境について学び、行動し、発信するまちをつくります。

— 環境保全課 —

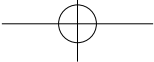
6 すみだゼロカーボンシティ2050 宣言

令和3年10月5日

— 脱炭素社会の実現を目指して —

墨田区は、かけがえのない地球を未来の子どもたちに引き継ぐため、「環境にやさしいまち すみだ」の実現に向けた取組を積極的に推進しています。

しかし、近年、世界各地及び日本において、極端な気象現象によ



る自然災害が発生し、私たちの生命や財産を脅かすとともに、区民生活にも大きな影響をもたらしています。

2018年に公表された国連のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告書では、2050年前後には世界の二酸化炭素排出量を正味ゼロにする必要があることが示されました。また、2015年に国連で採択されたSDGsでは、地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念とする、持続可能な社会の実現を掲げています。

我が国においては、2020年に「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、東京都においても、2019年に同様の宣言が行われています。

これらを踏まえ、墨田区においては、地球温暖化を防ぐための行動を加速していくため、2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す「すみだゼロカーボンシティ 2050」を宣言し、区民・事業者・区が協働することにより、脱炭素社会の実現に向けたまちづくりを推進していきます。